

平成 31 年度（2019 年度）

神戸大学

EUエキスパート人材養成プログラム

Kobe University Programme for European Studies

(KUPES)

学生募集要項（第 2 次）

国際教育総合センター
プログラムコーディネート部門

平成 31 年度 (2019 年度)
神戸大学 EU エキスパート人材養成プログラム
Kobe University Programme for European Studies (KUPES)
学生募集要項 (第 2 次)

趣旨

神戸大学 EU エキスパート人材養成プログラム (KUPES) は、国際文化／国際人間科学・法・経済の学部・研究科の学生が、EU (欧州連合) を主とした欧州に関してそれぞれの専門分野と学際的観点から多面的かつ体系的に学べるように、神戸大学が独自に開発した学位プログラムです。

学部 2 年生から博士前期 (修士) 課程まで一貫したカリキュラムの提供により、欧州の社会文化・法・政治・経済的側面について専門的かつ分野横断的に研究する能力や高度な語学力を段階的に習得できます。

さらに、欧州各国の大学への学部段階での交換留学 (半年～1 年) と、博士前期 (修士) 課程でのダブルディグリー取得のための留学 (1 年) を目指すことで、複眼的な視野を養い、国際的な人脈、タフな精神力を形成することができます。留学先で習得する英語と他の EU 公用語運用能力や分野横断的な知識は、留学先での学修やインターシップ等の活動をより充実したものにするでしょう。特に、ダブルディグリーとして欧州で修士号を取得する経験は、海外での博士号、国際機関等の政府関連機関、或いは産業界などに進む可能性を大いにもたらし、高い外国語能力と欧州での学修経験を生かすチャンスを大きく広げることになります。

グローバル化が世界の隅々まで浸透している今の社会では、どの国のどのような機関で仕事をして、国際的な視野と経験が不可欠です。ぜひ本プログラムにチャレンジして、高度な語学力や高度な知識のみならずタフな精神力や国際的な人脈をも身に付け、未来へ飛躍してください。

I. 募集人員 若干名

II. 出願資格

本プログラムへの出願資格を有する者は神戸大学国際人間科学部、法学部、経済学部のいずれかに在籍する学部現 1 年生に限ります。

III. 出願書類

- ・神戸大学 EU エキスパート人材養成プログラム (KUPES) 願書
※所属学部の教務学生係又は学部・大学院教務係で入手するか、国際教育総合センタープログラムコーディネイト部門のホームページからダウンロードして下さい。
- ・志望動機 (800 字程度、A4×1 枚、様式自由)
- ・学業成績表
- ・語学能力を示すものがある場合はその写し ※無い者は不要
- ・面接日程希望調査票

IV. 出願手続き

出願を希望する者は、出願書類を取りそろえ、下記出願期間中に提出してください。

【出願期間】平成31年3月18日（月）から平成31年3月25日（月）

【受付時間】午前9時から午後5時まで（時間厳守）。ただし、法学及び経済学研究科は午前11時30分から午後12時30分を除く。

【出願先】国際人間科学部 鶴甲第一キャンパス事務課 教務学生係
法学研究科 学部・大学院教務係
経済学研究科 学部・大学院教務係

V. プログラム履修生の選抜方法

応募者多数の場合、プログラム参加への意欲及びEUへの関心等を提出書類・面接により総合的に判断して選抜します。

面接予定日：平成31年3月28日（木）から平成31年3月29日（金）

VI. 選抜結果の発表

選抜結果については4月4日（木）以降に各学部掲示板及び国際教育総合センタープログラムコーディネート部門のホームページ上にて発表します。

VII. 個人情報の取り扱いについて

取得した個人情報は、プログラム履修生の選抜及び履修にともない必要となる業務のために「神戸大学個人情報管理規則」の定めるところにより取り扱います。

VIII. 問合せ先

国際教育総合センタープログラムコーディネート部門

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

神戸大学六甲台キャンパス社会科学系フロンティア館6階

E-mail: intl-prg@office.kobe-u.ac.jp 電話番号：078-803-7077

URL（国際教育総合センタープログラムコーディネート部門）：

<http://www.office.kobe-u.ac.jp/intl-prg/eup/>

EUエキスパート人材養成プログラム

○人材養成に関する目的及び教育研究上の目的

EUを主軸として国民国家としての枠組みを残しながらも経済統合と政治協力を進める欧州は、地域の枠組を越える影響力をもち、世界におけるプレゼンスを一段と高めつつある。このようなEUを中心に発展してきた欧州について、日欧大学間の連携に基づき、法学・政治学・経済学・社会文化学など、関連する諸分野を基盤とした教育研究を行い、(1)EUを主とした欧州に関連した深い専門的知識、及び(2)EUを主とした欧州に関連した課題理解のためのより広い学際的知識を修得させるとともに、日欧が抱える共通の諸課題に能動的に取り組む意志力を養う。

英語や他のEU公用語で研究・発表することができる能力を涵養し、広く21世紀の日本と国際社会が抱える共通の諸課題について、問題解決能力を備え、専門的・学際的な議論や交渉を対等によどみなく行える人材を養成する。

本プログラムにより、涵養される能力は次の3点である。

1. 専門性：EUを主とした欧州に関する専門的知識を得ることにより、欧州の動向及び欧州が日本を含む国際社会に及ぼす影響について、洞察し分析できる能力
2. 学際性：EUを主とした欧州社会の構造及び課題を法学的、政治学的、経済学的、社会文化学的な観点から、多面的に分析・研究する能力
3. 国際性：異文化への深い理解力と高度なコミュニケーション能力

このような人材が備える技能は次の3点である。

1. コミュニケーション
英語及び他のEU公用語1言語（仏語又は独語等）の読解・会話・ライティングの能力をもって、EUを中心とする欧州各国の人々と交渉・協同できる技能
2. プレゼンテーション
日欧に関する広い学際的視野をもって、説得力ある意見を正確に伝達できる技能
3. ディスカッション
日欧に関する深い識見をもって、専門的議論や問題解決のための柔軟な交渉を対等によどみなく行える技能

以上の能力、技能は、語学検定試験の他、レポートの提出、研究の企画・立案、

研究発表，ディベートなどにおいて，当該言語を母語として又は日常的に使用する者によるチェックによって，その到達度を客観的に評価する。

EUエキスパート人材養成プログラム全体の アドミッション・ポリシー

EUエキスパート人材養成プログラムでは，学部1年次における全学共通教育及び専門科目の履修を経て，2年次より本プログラムに参加の上，特に日欧が抱える共通の諸課題について深い専門性とより広い学際性をもって理解し，広く21世紀の国際社会において活躍できる人材を養成することを目指します。

そのために，次のような学生を求めています。

- (1) 専攻する分野について全体像を把握し，問題意識，発想法，方法論の基礎を備えた学生
- (2) 専攻する分野と他分野との関係や位置づけを理解し，幅広い視点から課題を総合的・学際的に捉えようとする学生
- (3) 国際化に対応できる外国語のコミュニケーション能力を備えた学生
- (4) EUを主とした欧州社会の構造や異文化の多様な価値観を理解し，主体性をもって課題に取り組み，考え，判断し，行動する資質を持つ学生